

令和7年度

2級土木施工管理技術検定第二次検定

解答試案

※ご注意※

- ・本解答は令和7年11月4日にCIC日本建設情報センターが独自に制作・編集したもので、予告なく変更する場合がございます。また、CIC日本建設情報センターが独自の見解に基づき制作したもので、試験結果等について保証するものではありません。
- ・解答試案の内容及び正当性に関するお問い合わせは受け付けておりませんので悪しからずご了承ください。
- ・試験実施機関の(一財)全国建設研修センターとは一切関係ございません。

CIC

日本建設情報センター

<https://www.cic-ct.co.jp>

不許複製

必須問題

【問題 1】

※施工経験記述問題のため、解答例は省略します。

必須問題

【問題 2】

記号	適切な語句又は数値
イ	コーン指數
ロ	地盤反力
ハ	水セメント比
ニ	25
ホ	CBR

必須問題

【問題 3】

下記の①～③の工程表の中から 2つ選び、それぞれ特徴について記述する。

工程表	特徴
①バーチャート	<ul style="list-style-type: none">縦軸に部分工事をとり、横軸に必要な日数を棒線で記入した図表で、各工事の工期がわかりやすい。作成は簡単だが、作業手順や進行度合が漠然としており、工期に影響する作業がどれであるかは掴みにくい。
②グラフ式工程表	<ul style="list-style-type: none">縦軸に出来高または工事施工量の累計、横軸に工期の時間的経過をとり、工種ごとの工程を斜線で表し、出来高の進捗状況をグラフ化したもの。どの作業が未着工・施工中・完了等の作業の進捗はわかるが、各作業の相互関連と重要作業がどれであるかは不明確である。
③出来高累計曲線	<ul style="list-style-type: none">縦軸に出来高累計、横軸に工期をとて工事全体の出来高比率の累計を曲線で表した図表である。一般的に S 字型となり、工程管理曲線によって管理する。作業手順、作業に必要な日数、工期に影響する作業は不明だが、作業の進行度合は判明する。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

必須問題**【問題 4】**

記号	適切な語句
イ	地耐力
ロ	せん断
ハ	圧縮性
ニ	ICT
ホ	3次元

必須問題**【問題 5】**

コンクリートに関する下記の用語①～④から2つ選び、それぞれ用語の説明を解答欄に記述する。

用語	説明
①スペーサ	鉄筋コンクリートを打設する際に、鉄筋が動かないよう、鉄筋を所定の位置に固定させるとともに、かぶりを確保するために使用するもの。
②コールドジョイント	コンクリートを層状に打込む場合に、先に打ち込んだコンクリートと後から打ち込んだコンクリートとの間が、完全に一致していない不連続面。
③ブリーディング	フレッシュコンクリートにおいて、固体材料の沈降または、分離によって練混ぜ水の一部が遊離して上昇する現象。
④ワーカビリティー	材料分離を生じることなく、運搬、打込み、締固め、仕上げ等の作業が容易にできる程度を表すフレッシュコンクリートの性質。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題（1）

【問題 6】

記号	適切な語句
イ	強度
ロ	抵抗
ハ	含水
二	仕様書
亦	施工者

選択問題（1）

【問題 7】

記号	適切な語句又は数値
イ	荷卸
ロ	スランプ
ハ	4.5
二	塩化物
亦	3

選択問題（2）**【問題 8】**

移動式クレーンを用いて作業を行う時、クレーン等安全規則に定められている事業者が実施すべき施工上の留意点について2つ解答欄に記述する。

ただし、玉掛け作業は除く。また、（例）と同一内容は不可とする。

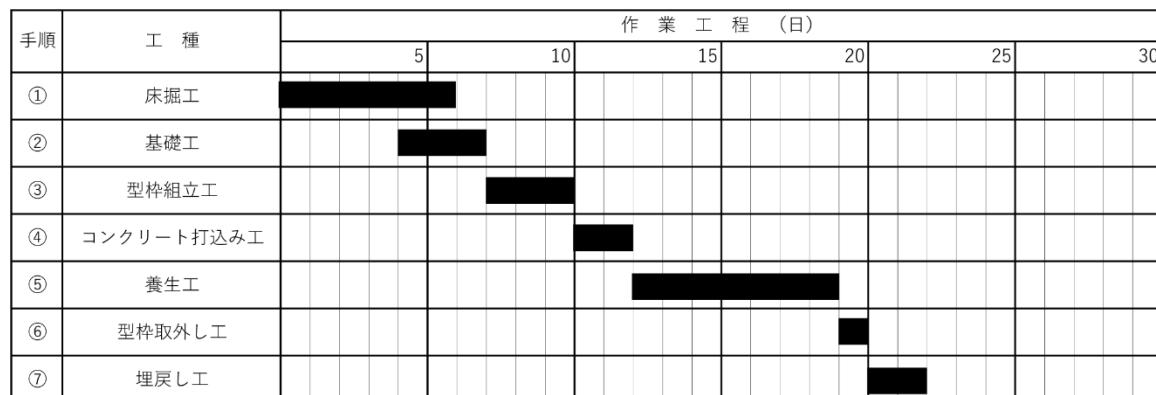
①	移動式クレーンにその定格荷重をこえる荷重をかけて使用しない。
②	移動式クレーンの運転について一定の合図を定め、合図を行う者を指名して、その者に合図を行わせる。
③	移動式クレーンの上部旋回体と接触することにより危険が生ずるおそれのある箇所に立ち入ることについて、禁止する旨を見やすい箇所に表示することその他の方法により禁止しなければならない。
④	強風のため、危険が予想されるときは、作業を中止する。

上記対策の中から2つ選び、記述する。

上記以外にも正答となり得る解答はあるが、本試案では代表例を提示する。

選択問題（2）**【問題 9】**

施工手順に基づき工種名を記述した横線式工程表(バーチャート)を作成し、全所要日数を解答欄に記述する。



全所要日数
22日